

1. 科目名 (単位数)	神経・生理心理学/生理心理学 (2単位)		3. 科目番号	PSMP3336
2. 授業担当教員	八賀 洋介			
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	秋期	
6. 履修条件・他科目との関係				
7. 講義概要	生理心理学とは、生体の生理的反応と心的過程との対応関係について研究する分野である。心的反応によって生じる生理的变化は、脳内活動によって制御されている。本講義では脳の構造と働きについて体制的な知識を身につけるとともに、知覚、記憶、感情といった心的過程と脳の生理的反応の関係について学ぶ。さらに、精神疾患や高次脳機能障害との関連についても学び、「心」の問題と脳の活動について理解を深める。			
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・脳の構造と働きについて基本的な知識を身につける。 ・心的過程や精神疾患に脳がどのように関わっているのか学ぶ。 ・上記の応用として、臨床事例や高次脳機能障害と脳の活動について説明出来るようになる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	理解度確認のため、小テストを課します。事後学習を忘れずに行ってください。まとめとして、授業で学んだテーマのうち、一つを選んでレポートを作成します。			
10. 教科書・参考書・教材	岡田隆・廣中直行・宮森孝史 (2005) 生理心理学 (第2版) サイエンス社			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳の構造や働きについて基本的な知識を身につけ、説明できること。 ・心的過程や精神疾患に脳がどのように関わっているかを理解し、説明できること。 ・臨床事例や高次脳機能障害と脳の活動の関係について説明できること。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度 10%、小テスト (3回) 70%、レポート課題 20%として総合的に評価を行う。</p>			
12. 受講生へのメッセージ	本授業では、こころの働きを脳の神経活動の側面から理解することを目的としています。心理現象を脳整理との関連で捉える知識を学びます。心理学と生理学の学問的関連性と独立性について検討する足掛かりとしたいと思います。なじみの無い専門用語がたくさん紹介されますが、ひとつひとつを確実に理解するよう努力しましょう。			
13. オフィスアワー	初回授業時に通知する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション	事前学習	教科書を用意しておく。	
		事後学習	授業運営について復習しておく。	
第2回	脳の構造	事前学習	教科書第1章を読んでおく	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第3回	脳の信号	事前学習	教科書第2章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第4回	脳と知覚	事前学習	教科書第3章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第5回	脳と記憶	事前学習	教科書第4章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第6回	小テスト	事前学習	ここまでの内容を総復習する。	
		事後学習	答え合わせをする。	
第7回	学習	事前学習	教科書第5章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第8回	情動	事前学習	教科書第6章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第9回	動機づけ	事前学習	教科書第7章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第10回	小テスト	事前学習	学習以後の内容を総復習する。	
		事後学習	答え合わせをする。	
第11回	心の病気と脳	事前学習	教科書第8章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第12回	側性化：大脳半球の機能的非対称	事前学習	教科書第9章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第13回	睡眠	事前学習	教科書第10章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第14回	意識	事前学習	教科書第11章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	
第15回	小テスト	事前学習	教科書第12章を読んでおく。	
		事後学習	授業内容を復習する。	